

令和5年度
首里城公園事業年報
第5号



BUSINESS AN ANYE YEARLY REPORT OF SHURIJO CASTLE PARK
No.5 April 2023—March 2024

表紙写真 在りし日の首里城正殿（2019年2月撮影）

漆の塗り直し完了後から1年以上が経過した正殿の写真。正殿は琉球王国最大の木造建築物で、首里城のなかでも王権を象徴する中心的な建物である。中国や日本の建築様式の影響を受けながら、装飾化した龍柱や正面のハの字型階段など琉球独自の形式を持つ。写真の正殿は、1712年に建立され数度の大修理を経ながら戦前まで存続した建物の再現を目指して1992年に復元された。

裏表紙写真 首里城正殿屋根復元工事の様子（2024年2月撮影）

首里城正殿の屋根復元工事の様子が窺える写真。2023年8月26日に素屋根見学エリアの一般公開が始まった。この見学エリアからは、正殿の修復過程を間近で見ることができ、今しか見られない工事の様子を見学することができる。また、工事の解説パネルや、復元に使用した木材などの展示コーナーもあり見て・触れて・学べる見学エリアとなっている。

目 次

I 名称・所在地・営業資料	3
II 沿革	3
III 管理・運営	6
(1) 組織	6
(2) 入場者数	7
(3) 取材等報道一覧	7
(4) 主な管理施設	7
IV 事業報告	8
(1) 調査研究活動	8
(2) 普及啓発活動	13
(3) 地域連携事業	25
(4) 展示紹介・その他企画展等	29
(5) 首里城公園友の会事業	34
(6) 誘客促進	40
(7) 行催事	49

I 名称・所在地・営業資料

名称 首里城公園 [沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）]

設置者：内閣府 沖縄総合事務局
 管理許可者：沖縄県
 指定管理者：一般財団法人沖縄美ら島財団

所在地 〒903-0812 沖縄県那覇市首里当蔵町
 電話：098-886-2020 FAX：098-886-2022
 HP：<https://oki-park.jp/shurijo/>

開場時間

期 間	時 間	駐 車 場
4月1日～6月30日	8時30分～19時00分	8時00分～19時30分
7月1日～9月30日	8時30分～20時00分	8時00分～20時30分
10月1日～11月30日	8時30分～19時00分	8時00分～19時30分
12月1日～3月31日	8時30分～18時00分	8時00分～18時30分

※〈入場券販売締切：閉場時間の30分前〉

入場料金

	通常料金		年間 パスポート	沖縄県民割（70歳未満）※ モノレール割※ 学校割 友の会
	一般	団体 （20名以上）		
大人	400円	320円	800円	320円
中人（高校生）	300円	240円	600円	240円
小人（小・中学校）	160円	120円	320円	120円
6歳未満	無 料			
身体障害者等	免 除			

※団体は20名様以上

※モノレール（ゆいレール）のフリー乗車券（一日券・二日券）をご利用中のお客様は首里城公園券売所窓口にて乗車券の提示により団体料金の適用

※11/3～11/5の3日間、12/31～1/3の4日間の期間は、県民6歳以上より70歳未満を対象に「沖縄県民割」を実施。

II 沿革

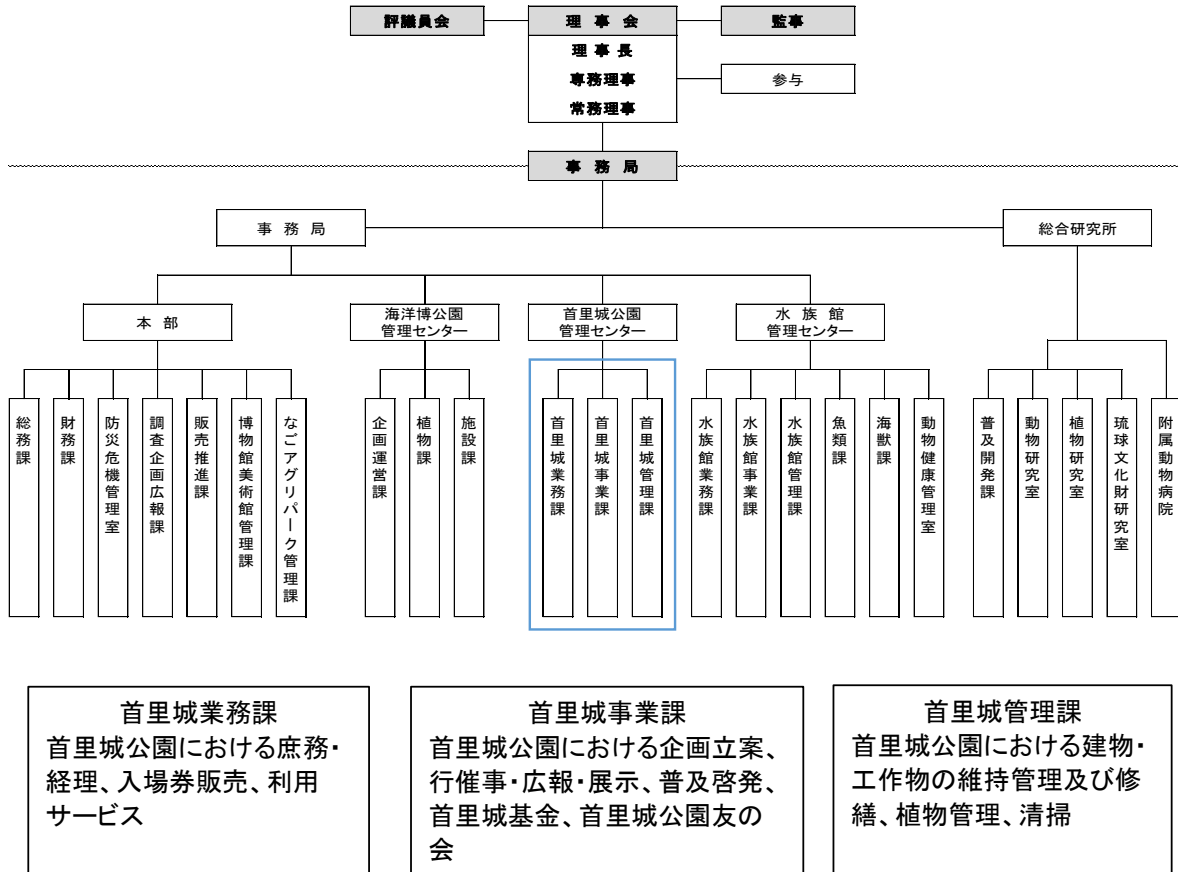
昭和 59 年		沖縄県により「首里城公園基本計画」策定
昭和 61 年		「国営沖縄記念公園首里城地区」として首里城跡地内 4ha を整備することが閣議決定 沖縄総合事務局により「国営沖縄記念公園首里城地区基本計画」が策定 国営公園の予定地の周辺を県営公園とすることを庁議決定 首里城公園（17.8ha）が都市計画決定
昭和 62 年		首里城公園内の国営公園部分が都市計画事業承認される 首里城公園内の県営公園部分が都市計画事業認可される。 沖縄県により「首里城公園基本設計」が策定
平成元年		首里城正殿建築工事の起工式及び木曳式を実施 首里城正殿、復元工事に着手。南殿・番所、北殿、奉神門等も復元工事に着手
平成 4 年		首里城正殿建築工事、石積設置工事等が竣工する
平成 4 年	11 月 3 日	首里城公園一部開園
平成 7 年	3 月 15 日	入園者 500 万人達成
平成 9 年	12 月 24 日	入園者 1,000 万人達成
平成 12 年	6 月 2 日	入園者 1,500 万人達成
	7 月 22 日	九州・沖縄サミットの夕食会が首里城で行われる
	12 月 2 日	「琉球王国のグスク及び関連遺産群」に園比屋武御嶽石門、首里城跡が世界遺産として登録
平成 14 年	11 月 1 日	入園者 2,000 万人達成
平成 15 年	10 月 4 日	京の内供用
平成 18 年	10 月 26 日	入園者 3,000 万人達成
平成 19 年	1 月 27 日	書院・鎖之間供用
平成 20 年	8 月 1 日	書院・鎖之間庭園供用
平成 21 年	7 月 23 日	書院・鎖之間庭園、名勝に指定
平成 22 年	4 月 1 日	淑順門供用
	12 月 5 日	入園者 4,000 万人達成
平成 26 年	1 月 24 日	黄金御殿・寄満・近習詰所・奥書院供用
	4 月 1 日	奥書院庭園供用
平成 27 年	4 月 25 日	入園者 5,000 万人達成
平成 28 年	3 月 28 日	銭蔵跡、厩、係員詰所跡供用
平成 29 年	3 月 31 日	北城郭園路広場供用
平成 30 年	12 月 16 日	入園者 6,000 万人達成
平成 31 年	2 月 1 日	国営沖縄記念公園首里城地区全エリア開園 東のアザナ・白銀門・二階御殿供用 世誇殿、女官居室、後之御庭、美福門供用

令和元年	10月31日	首里城正殿を含む建物9棟が焼損
令和2年	6月12日	首里城公園正殿遺構等の一般公開
	10月31日	首里城復興展示室、世誇殿大型映像設備、女官居室ミュージアム ショップ球陽がオープン
令和3年	10月27日	仮設見学デッキ完成
令和4年	10月1日	木材倉庫、見学エリア等完成
	11月3日	首里城正殿復元整備工事起工式及び令和の木曳式を開催
令和5年	8月26日	素屋根見学エリア 一般公開

III 管理・運営

(1) 組織

一般財団法人 沖縄美ら島財団 組織図 並びに 首里城公園管理センター 業務分掌



令和6年3月31日現在

(2) 入場者数

月	有料	無料	合計
4	64,952	4,557	69,509
5	67,176	5,574	72,750
6	58,049	3,827	61,876
7	59,447	4,086	63,533
8	54,806	3,736	58,542
9	52,143	3,811	55,954

月	有料	無料	合計
10	82,521	5,605	88,126
11	97,000	6,957	103,957
12	83,017	6,125	89,142
1	79,243	6,378	85,621
2	90,956	6,181	97,137
3	106,571	6,840	113,411
計	895,881	63,677	959,558

(3) 取材等報道一覧

カテゴリー	テレビ (全国)	テレビ (地方)	新聞 (全国)	新聞 (地方)	ラジオ	Web
展示	0	0	0	0	0	0
普及啓発	0	4	1	0	1	0
調査研究	0	0	0	0	0	0
イベント	2	35	4	27	2	1
復興	35	97	15	45	3	7

(4) 主な管理施設

区域		施設名
無料区域	城郭外	首里杜館・守礼門・園比屋武御嶽石門 円覚寺・弁財天堂・龍潭・中城御殿跡
	城郭内	歓会門・久慶門・瑞泉門・漏刻門・広福門 首里森御嶽・系図座用物座・奉神門 右掖門・淑順門・継世門・美福門 銭蔵・木曳門
有料区域 (焼失建造物含む)		正殿・南殿 番所・北殿・書院鎖之間 書院鎖之間庭園・近習詰所・奥書院 黄金御殿・寄満・女官居室・世誇殿 復興展示室・素屋根見学エリア

IV 事業報告

(1) 調査研究活動

三御飾道具の復元調査

概要

かつて、首里城では正月元日、正殿下庫理御差床（一階玉座）周辺（図1）に三御飾道具を飾り、国王が御差床に着座し、下庫理に居並ぶ家臣団と御酒・御茶を飲み合う祭祀儀礼を行った（図2・3）。この儀礼は、元日だけでなく年に数度行われた。また、首里城正殿の重修（大規模な修繕）のような国家事業の完成を祝う儀礼としても行われた。この三御飾道具の復元事業は、平成12年度より継続して実施している。ほとんどの三御飾道具は過年度に完成済みとなっているが、諸臣に御酒を振る舞う酒器と思われる「御玉垂」の製作仕様について調査研究を継続して行っている。

「御玉垂」の現存事例は無く、古写真のみ画像で残っている（図4）。今年度は、類似資料である「御玉貫」という酒器の事例調査を行った。現存の類似事例のうち、伊是名村（図5・6）・沖縄県立博物館・美術館（図7・8）・浦添市美術館（図9）、沖縄美ら島財団所蔵（図10・11）の御玉貫の調査を行うことができた。

調査内容は、①御玉貫に使用されているガラス小玉の形状をマイクロスコップで接写撮影して記録を行った。②ガラス小玉の色調をカラーチャートと照合して近似した色調の記録を行った。



図1 正殿下庫理（一階）の御差床（玉座）

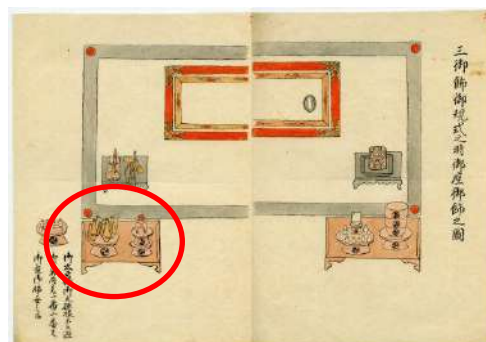


図2 『図帳 当方』

沖縄県立芸術大学 鎌倉芳太郎コレクション
正殿一階玉座周辺に飾られた三御飾道具の配置図
円で囲った水注状の酒器が「御玉垂」と思われる。



図3 『図帳 当方』拡大画像



図4 「御玉垂」
 沖縄県立芸術大学
 鎌倉芳太郎コレクション



図5 「黄色地巴紋御玉貫」
 伊是名村



図6 「緑地御玉貫」
 伊是名村



図7 「玉貫錫瓶」
 沖縄県立博物館・美術館



図8 「錫製五色玉瓶子」
 沖縄県立博物館・美術館



図9 「緑地巴紋御玉貫」
浦添市美術館



図10 「御玉貫」
沖縄美ら島財団



図11 「黒漆螺鈿采配（三ツ巴紋
御玉貫の蓋付き）」
沖縄美ら島財団

- ・ マイクロスコープによる接写画像から、ガラス小玉は溶解したガラス種を巻き上げてビーズ玉を成形したの多いことが分った。
 - ・ カラーチャートによる色調の記録から黄色系・黒色系は不透明なガラス小玉が多く、緑色系・赤色系は半透明のガラス小玉の割合が多い。白色系は不透明が多いが、半透明の事例も少なからずあり、色調によって透明度の傾向があることが分った。
- ※詳細は、『首里城公園調査研究年報』第15号を参照してほしい。
- ・ 前年度行った配色案の検討を合わせて継続しながら、次年度以降、有識者ヒアリングを行い、内容を精査していくことを予定している。

琉装国王・王妃衣装の復元調査

首里城火災で焼失した琉装国王・王妃衣装の製作に向けた復元調査を（株）沖縄電力の助成を一部受けて行った。今年度は、下記4点について調査を行った。

- ①前回の王妃衣装製作時に使用した型紙・織図・見本裂が残されているか確認を行った。
- ②人材育成を踏まえた製作担い手（織・紅型職人・縫製技術者）に関する調査。
- ③国王衣装の類似事例調査を沖縄県立博物館・美術館で実施した。
- ④①～③の調査結果について有識者を招聘して製作仕様や製作技術者の選定を行った。



図1 平成4・5年度に製作した琉装国王・王妃衣装



図2 金茶地蟒緞衣裳
前回国王衣装のモデルとなった衣裳。清朝からの下賜品を琉装にしている。
沖縄県立博物館・美術館所蔵



図3 茶地繡珍布
清朝から下賜された蟒緞の反物が衣裳等に改変されずにそのまま残っている。
沖縄美ら島財団所蔵



図4 前回国王の冠の見本裂
個人蔵

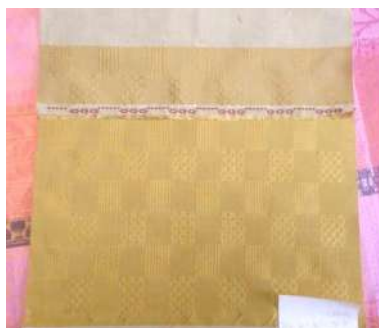


図5 前回王妃衣装（打掛）の見本裂個人蔵



図6 前回王妃衣装に使用された型紙
玉那覇紅型工房所蔵



図7 金茶地蟒緞衣裳事例調査
 沖縄県立博物館・美術館



図8 撮影記録調査
 基準資料となる「金茶地蟒緞衣裳」・「茶地
 繻珍布」をプロカメラマンに撮影してもら
 い、図案作成の基礎データとした。
 沖縄県立博物館・美術館

- ・ 琉装国王衣装の参考事例となる「金茶地蟒緞衣裳」・「茶地繻珍布」の調査を有識者や製作技術者とともにに行い、地色や琉装や瑞雲・蝙蝠等の織られた模様の色調についてカラーチャートを用いて記録した。
- ・ 特に「茶地繻珍布」は、幅 78cm×長 630cm の反物であるため、部分撮影を行ったうえ、全体を結合させ、図案検討が簡易に行えるように整備した。
- ・ 前回の王妃衣装の打掛は人間国宝であった故宮平初子、国王の冠は沖縄県無形文化財保持者（染織）の故ルバース・ミヤヒラ吟子親子であったが、既に物故しており、現在、工房も閉鎖している。那覇織物事業協同組合の協力を得て、ご遺族から打掛の王妃衣装製作時の資料（織図・見本裂等）が残されているか確認を行った。織図は現存していなかったが、衣裳・冠とも類似の見本裂が残されており、今回の製作時には参考資料として貸与できるよう調整を行った。
- ・ 前回の王妃の紅型衣装は人間国宝の玉那覇有公氏が製作を行った。その玉那覇紅型工房に紅型の型紙や見本裂が残されており、図案・色調とも前回は踏襲できる資料が残されていた。
- ・ 国王・王妃衣装ともに衣装としての縫製に関する留意点について製作技術者からの意見の聴取を行った。
 ※詳細は、『首里城公園調査研究年報』第 15 号を参照してほしい。
- ・ 次年度は引き続き、追加の事例調査や製作技術者との協議を行い、調査や協議の結果については有識者の意見を聴取・反映させながら製作仕様を確定させ、一部製作に着手していきたい。

(2) 普及啓発活動

郷土歴史文化学習事業

目的

郷土の歴史や文化の普及・啓発を図るため沖縄県内の小・中学生及び引率教諭を対象に、首里城公園の有料施設に無料で入場できる郷土歴史文化学習事業を実施している。

来園後には学習結果報告として児童・生徒の作文、図画、新聞等を提出していただき、園内で展示・紹介することで首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を行うとともに、県民の首里城公園の利用促進を図り誘客につなげることを目的とする。

概要

令和5年度は小学校75校4,519人、中学校8校1,101人が郷土歴史文化学習事業制度により、首里城公園で首里城及び琉球王国の歴史文化について学んだ。

(人)

月	小学校		中学校		その他(学童等)		合計	
	校数	人数	校数	人数	件数	人数	校数・件数	人数
4月	4	308	0	0	0	0	4	308
5月	7	609	0	0	0	0	7	609
6月	9	342	1	145	0	0	10	487
7月	1	83	1	13	0	0	2	96
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	6	469	1	187	0	0	7	656
10月	7	490	0	0	0	0	7	490
11月	12	569	0	0	0	0	12	569
12月	11	643	3	319	0	0	14	962
1月	9	501	1	216	0	0	10	717
2月	6	356	1	221	0	0	7	577
3月	3	149	0	0	0	0	3	149
合計	75	4,519	8	1,101	0	0	83	5,620



郷土歴史文化学習の様子



学習結果報告書の展示

首里城出張講座

目的

郷土歴史文化学習事業で来園を予定している小・中学校、または依頼のある高校などを対象に、学芸員による首里城に関する出張講座を実施し、郷土の歴史文化の普及・啓発と首里城公園の利用促進を図る。

概要

郷土歴史文化学習事業の事前学習として、琉球王国及び首里城の歴史概説や現在の首里城公園の見どころ、また希望に応じて学校の所在する地域と首里城の関連などの歴史解説を行った。実施日・実施場所・参加人数・派遣職員等については以下の通り。

- ・ 令和5年4月21日（金）
・ 那覇市立城南小学校 参加者数：58人（5年生） 教員2人
派遣職員：比嘉 明子・友利 優太（首里城事業課）
- ・ 令和5年7月6日（木）
・ 興南高校・中学校 アクト部 参加者数：43人 教員1人
派遣職員：比嘉 明子（首里城事業課）
- ・ 令和5年9月26日（火）
・ 浦添市立宮城小学校 参加者数：120人（5年生） 教員3人
派遣職員：比嘉 明子・銘苺 あやの（首里城事業課）
- ・ 令和5年9月29日（金）
・ 那覇市立首里中学校 参加者数：208人（3年生） 教員6人
派遣職員：比嘉 明子（首里城事業課）
- ・ 令和5年10月11日（水）
・ 宜野湾市立普天間小学校 参加者数：89人（4年生） 教員2人
派遣職員：比嘉 明子・銘苺 あやの（首里城事業課）
- ・ 令和5年11月7日（火）
・ 名護特別支援学校 参加者数：9人（6年生） 教員2人
派遣職員：比嘉 明子・銘苺 あやの（首里城事業課）

- ・ 令和5年11月8日（水）
- ・ うるま市立勝連小学校 参加者数：59人（5年生） 教員2人
派遣職員：比嘉 明子・銘苺 あやの（首里城事業課）
- ・ 令和5年11月9日（木）
- ・ 那覇市立上間小学校 参加者数：98人（5年生） 教員3人
派遣職員：友利 優太（首里城事業課）
- ・ 令和5年11月14日（火）
- ・ 那覇市立城北小学校 参加者数：126人（3年生） 教員4人
派遣職員：比嘉 明子（首里城事業課）
- ・ 令和5年12月19日（火）
- ・ 糸満市立米須小学校大度分校 参加者数：7人（4～6年生） 教員5人
派遣職員：比嘉 明子・銘苺 あやの（首里城事業課）
- ・ 令和5年12月20日（水）
- ・ 豊見城市立豊見城小学校 参加者数：135人（4年生） 教員5人
派遣職員：比嘉 明子・銘苺 あやの（首里城事業課）
- ・ 令和6年1月11日（木）
- ・ 糸満市立西崎小学校 参加者数：134人（4年生） 教員5人
派遣職員：比嘉 明子・銘苺 あやの（首里城事業課）
- ・ 令和6年2月9日（金）
- ・ 那覇市立城南小学校 参加者数：75人（6年生） 教員3人
派遣職員：比嘉 明子（首里城事業課）



那覇市立城南小学校



興南アクト部



浦添市立宮城小学校



那覇市立首里中学校



宜野湾市立普天間小学校



名護特別支援学校



うるま市立勝連小学校



那覇市立上間小学校



那覇市立城北小学校



糸満市立米須小学校大度分校



豊見城市立豊見城小学校



糸満市立西崎小学校



那覇市立城南小学校

日影台（日時計）解説会

目的

学芸員や解説員による日影台（日時計）の解説会を通して、首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を行うとともに、首里城公園の利用促進や誘客を目的とする。

実施日時および場所

《実施日時》

- ①令和5年6月21日(水・夏至)、24日(土)、25日(日)
10:20~11:00、12:20~13:00
- ②令和5年9月22日(金)、23日(土・秋分)、24日(日)
10:20~11:00、12:20~13:00
- ③令和5年12月22日(金・冬至)、23日(土)、24日(日)
12:20~13:00、14:20~15:00
- ④令和6年3月16日(土)、17日(日)、20日(水・春分)
12:20~13:00、14:20~15:00

《実施場所》 首里城公園 日影台

概要

琉球王国時代に使用された日影台は、往時、時刻盤の傾斜角度を二十四節季ごとに変えていたことにちなみ、現在は春分・夏至・秋分・冬至の4回変えている。

令和5年度は、夏至、秋分、冬至、春分を含む合計12日間解説会を実施し、総計1,311人（夏至：427人／秋分：243人／冬至：203人／春分：438人）が解説会に参加した。

解説会では、外国語3か国語（英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語）を含む解説書と自作できる日影台のワークシートを配布し、日影台の見学を行った。

さらにYouTubeの首里城チャンネルにて公開している日影台の動画についても、見学の際に案内した。

【令和5年度 日影台（日時計）解説会 参加者数】 (人)

実施日	日程	曜日	12:20~ 13:00	14:20~ 15:00	小計	合計
令和5年 (夏至)	6月21日	水	45	68	113	427
	6月24日	土	93	60	153	
	6月25日	日	97	64	161	
令和5年	9月22日	金	50	43	93	243
	9月23日	土	32	29	61	

(秋分)	9月24日	日	52	37	89	
令和5年 (冬至)	12月22日	金	46	49	95	203
	12月23日	土	26	4	30	
	12月24日	日	57	21	78	
令和6年 (春分)	3月16日	土	65	85	151	438
	3月17日	日	57	82	139	
	3月20日	水	66	82	148	
総合計						1,311

※12月23日12時・14時、12月24日14時は雨天ため途中中止



夏至



秋分



冬至



春分

首里城講座

目的

本講座を通じて、首里城に関する歴史・文化を主に県民に向けて普及啓発し、首里城公園の利用促進と満足度向上を目的とする。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和6年1月13日(土)・20日(土)・27日(土)・2月3日(土)

《時間》 毎週土曜日 10:30~12:00

《場所》 首里城公園 首里杜館 レビューホール

《定員》 20人

概要

今期は「鎌倉芳太郎琉球調査100周年」と題して、鎌倉芳太郎の研究の幅広い調査研究に合わせ、漆器、歴史、紅型、絵画を専門とする方を講師にお招きし、4回行い首里城の「見せる復興」の機運を更に高める講座を行った。

・【第1回】「忠太と芳太郎が見た琉球漆器」

講師：伊禮拓郎（沖縄県立博物館・美術館 学芸員）

鎌倉芳太郎が沖縄研究に関わるきっかけや伊東忠太との出会い、その後の共同調査や首里城取り壊し阻止等、その功績について二人が調査した内容や文書、図帳、写真等から丁寧に詳細な解説があった。かなり密度の濃い内容で時間を超えてしまったため、質疑応答時間は設けられなかったが、終了後講師に参加者が熱心に聞く姿も見られた。

（参加者数：19名）

・【第2回】「シン・首里城を救った男たち～鎌倉芳太郎と伊東忠太～」

講師：上江洲安亨（一般財団法人沖縄美ら島財団 副参事）

鎌倉芳太郎と伊東忠太の功績について首里城との関係を中心に説明があった。鎌倉芳太郎が写しを残した『寸法記』と尚家文書の比較や撮影した写真、調査ノート等が実際の復元にどのように反映されているのかの解説があった。参加者からの質問も多く、鎌倉芳太郎の功績を復興にどのように活かしていくのかについて関心を寄せている様子が窺えた。

（参加者数：20名）

・【第3回】「鎌倉芳太郎と紅型」

講師：平田美奈子（沖縄県立芸術大学 共同研究員）

30年近く研究されている鎌倉芳太郎が収集した紅型型紙や染織資料と人間国宝にも指定された鎌倉芳太郎自身の創作活動との関連性について、県立芸大や県立博物館等のコレ

クシヨンと鎌倉作品の画像を比較しながら紹介した。鎌倉が収集した戦前の紅型型紙や収集した型紙を使った復元はないのか等、質疑応答も活発に行われた。

(参加者数：18名)

・【第4回】「《孔子及び四聖配像》はどこにあったか—鎌倉芳太郎の琉球調査から謎を読み解く—」

講師：平川信幸（沖縄県立博物館・美術館 学芸員）

沖縄県立博物館・美術館が所蔵する絵画『孔子及び四聖配』が元々どこにあったのか、鎌倉芳太郎が撮影した写真や調査ノート等、他の資料も合わせながら複合的に分析した調査結果を話していた。丹念に調査を進めていく過程を説明していて、参加者が引き込まれていくのが窺えた。質疑応答も活発に行われた。

(参加者数：22名)



第1回



第2回



第3回



第4回

首里城公園有料ガイドツアー

目的

首里城公園の解説員によるガイドツアーを行い、お客様に琉球王国や首里城の歴史・文化、建造物等について解説紹介を実施する。特に正殿等の再建が着々と進む今だからこそ見られる、感じられる首里城の新たな魅力や再建に向けた状況を紹介し、首里城復興に向けた気運を高め、首里城への理解を深めることを目的とする。

実施日時および場所

《実施日時》

令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）

毎日：8：15～9：15 9：15～10：15 16：00～17：00

貸切：10：00～15：00の範囲で、参加者が希望する時間を調整して開催

《実施場所》 首里城公園内 （受付）首里杜館 B1F

御開門式見学コース（8：15）

首里杜館→守礼門→木曳門→大龍柱補修展示室→奉神門（御開門式見学）→木材倉庫・加工場・原寸場→素屋根→東のアザナ→世誇殿

歓会門コース（9：15/貸切ツアー）

首里杜館→守礼門→園比屋武御嶽石門→歓会門→龍樋→瑞泉門→漏刻門→日影台→広福門→大龍柱補修展示室→奉神門→木材倉庫・加工場・原寸場→素屋根→世誇殿

復興コース（16：00）

首里杜館→守礼門→園比屋武御嶽石門→歓会門→龍樋→瑞泉門→広福門→大龍柱補修展示室→奉神門→木材倉庫・加工場・原寸場→素屋根→復興展示室→世誇殿

木曳門（バリアフリー）コース（※参加者との相談）

首里杜館→守礼門→園比屋武御嶽石門→木曳門→京の内→下之御庭→大龍柱補修展示室→奉神門→木材倉庫・加工場・原寸場→復興展示室→世誇殿

概要

定時ツアーは1日3回、中学生以上を1人1,000円とし、1回の定員を10人までで行った。貸切ツアーは10時～15時の間で、中学生以上1人1,500円、参加者が希望する時間を調整して行った。

ツアーではイヤホンガイドを活用して首里城や琉球王国の歴史と文化の概要を紹介しながら、参加者にわかりやすく案内した。着々と建設が行われている首里城正殿について木材倉庫・加工場・原寸場と素屋根の見学エリアもご案内し、復興が進む様子を紹介した。こまめに参加者の様子を確認し安全に回れるように声かけを行い、質問などにも対応した。

参加者は前年度に比べて増えており、個人での旅行者や家族連れグループの参加等さまざまであったが、アンケートの満足度は概ね好評であり、何度も参加される方もいた。

参加者数

(人)

実施月	定時		貸切		合計
	有料	無料	有料	無料	
4月	246	23	67	9	345
5月	211	6	282	46	545
6月	213	9	476	47	745
7月	210	33	260	15	518
8月	143	33	90	7	273
9月	173	4	212	3	392
10月	217	11	385	23	636
11月	261	12	567	3	843
12月	220	10	233	4	467
1月	335	35	202	0	572
2月	346	15	354	11	726
3月	435	36	160	6	637
合計	3,010	227	3,288	174	6,699



ガイドツアーの様子

あがり
東のアザナ時報解説・体験会

目的

琉球王国時代、漏刻門や日影台で計測した時間を東のアザナや西のアザナに伝え、そこから鐘などをついて首里城内外へ時間を知らせていたことにちなみ、毎日正午に来園者が銅鑼を叩いて時間を知らせる体験会を行う。琉球王国時代の歴史や文化についての理解を深める機会とする。

実施日時および場所

《実施日時》

令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）※天候不良時を除く毎日実施

11:55～12:05

《実施場所》 首里城公園 東のアザナ

概要

首里城公園解説員が11:55頃から、かつて時間を城内外へ知らせる鐘樓が設置されていたと伝わる東のアザナで琉球王国時代の時刻に関する解説を行い、希望者の方にハチマチを被ってもらい、正午をお知らせするドラを叩く体験会を実施した。

参加者数

	回数	参加者（人）
4月	27	711
5月	28	644
6月	25	538
7月	30	688
8月	24	664
9月	28	710
10月	30	857
11月	29	597
12月	24	627
1月	30	861
2月	24	648
3月	27	1,030
合計	326	8,575



時報解説・体験会の様子

歴史植物ガイドツアー

目的

首里城公園の施設やその場所に関する歴史的な解説と、首里城公園内に植栽されている植物に関する解説を実施し、首里城公園の普及啓発及び満足度向上を目的とする。

実施日時および場所

《実施日時》

令和6年2月24日（土） 10:00～11:30、14:00～15:30

令和6年2月25日（日） 10:00～11:30、14:00～15:30

《実施場所》

首里城公園内

守礼門－歓会門－銭蔵－北城郭地区－瑞泉門－漏刻門－広福門－下之御庭－大龍柱修復展示室－首里森御嶽－奉神門－復興エリア（木材倉庫・素屋根）－世誇殿

概要

学芸員と植物担当のスタッフが参加者と一緒に園内をまわりながら首里城公園内の植栽について解説を行った。

学芸員による解説では、首里城の歴史や琉球王国の概要、門や城壁、建造物の用途について解説し、琉球王国時代の美術工芸品に見られる植物モチーフについても説明した。

植物担当スタッフによる植物解説では、公園内の植栽が資料や証言に基づいて行われていることを説明した。また、植物の名前の由来や見どころ、花が咲く時期等について解説し、盆栽の手入れや管理方法についても紹介した。参加者は熱心に観察し、耳を傾け、質疑応答も活発に行われた。

参加者数

令和6年2月24日（土） 10:00～11:30 16名／14:00～15:30 10名

令和6年2月25日（日） 10:00～11:30 7名／14:00～15:30 3名

合計 36名



歴史植物ガイドツアーの様子

(3) 地域連携事業

フラワーロード事業

目的

都市公園及び都市公園の周辺地域に対する県民の意識の高揚と利活用の効果を高めるため、住民参加による都市公園等の愛護活動を展開する。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和5年10月22日(日)

《時間》 9:30~11:00

《場所》 首里城公園内 龍潭及び久慶門周辺園路

《連携団体》 首里地域住民の方、近隣の地域団体・企業

《参加者》 51名

概要

10月の沖縄都市緑化月間都市公園等愛護活動の一環として、龍潭や久慶門周辺園路の清掃美化作業、プランターへの草花植付け作業を実施した。今回は協力会社や近隣ホテル、地域団体、首里城公園友の会等に参加依頼をしたほか、首里城公園HP、SNSに掲載し、参加者を募った。

作業開始前に主な作業内容の説明を行い、安全管理、熱中症対策に注意して作業を行うよう参加者に周知した。清掃作業は、園路の落葉清掃や石積み除草、中低木刈込、雑木撤去等を実施した。また、草花植付け作業では、プランター80鉢にベゴニアの植え付けを実施した。植付け後には、龍潭通り(県道)にプランターを設置し、フラワーロードとして沿道の景観向上を図った。参加者には、総合研究センター(植物研究室)より提供していただいたコーヒーノキとハイビスカスの苗を配布した。

この活動を通して、参加者に都市公園愛護への意識高揚を図ることができ、また地域住民参加による大規模な清掃を行うことで、安全で憩える環境づくりを行うことができた。



令和5年度 フラワーロード事業 風景

首里城への美御水（ヌービー）の奉納

目的

かつて首里城へ献上され、国王の年始清め儀式「お水撫で(ウヰナゲー)」などに使われたのが、国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」で汲まれた水である。そして、首里王府の伝統行事として執り行われてきた国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」は、平成10年に120年の時を超え復活した。

本行事は、地元首里の方々と共に琉球文化の心と想いを伝え、来る年の人々の健康と多幸を願い、首里城及び地域の平和と発展推進を祈念し、更に次世代への固有文化継承を目的としている。

実施期間・時間および実施場所

《期 間》 令和5年12月24日（日）

《時 間》 15:00～15:30

《場 所》 旧円覚寺総門前

《連携団体》 首里観光案内所、首里トゥンジムイ参道ゆい会、
辺戸区お水取り有志の会

概要

首里王府の伝統行事として執り行われてきた国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」と「円覚寺奉納」が行われた。首里城公園内では、旧円覚寺総門前において「奉納の儀」が実施された。イベント終了後、12月24日（日）から1月3日（水）までの期間、首里杜館1階案内カウンター横で「若水」を展示した。



旧円覚寺「奉納の儀」



「若水」の展示

令和5年度 「春の御城まつり ～首里手作り市～」

目的

地域団体や教育機関、地元企業との結びつきを強化し、「地域に親しまれる公園」作りを通して首里地域の活性化に寄与することを目的とする。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和6年3月16日（土）～3月17日（日）2日間

《時間》 8:00～18:00

《場所》 首里城公園内

国営区域（下之御庭、系図座・用物座）

県国営区域（奉神門、瑞泉門下）

県営区域（守礼門前、首里杜館（芝生広場、レビューホール等）

《連携団体》・NPO 法人首里まちづくり研究会 ・那覇市城西小学校区まちづくり協議会

・首里三ヶ城南校区まちづくり協議会 ・首里の朝市実行委員会

・小中高生バンドフェスティバル in 首里実行委員会 ・首里城公園友の会

・那覇市防災危機管理課

《連携企業》首里染織館 suikara、首里琉染、新垣養蜂園

概要

地域からの要望を踏まえ、企画から運営まで地域と一緒に行うことで、日頃から首里城公園に足を運んでいただけるような「地域に親しまれる公園」作りに取り組んだ。今回初めての取り組みとして首里近隣の飲食店等の店舗と連携して「首里の朝市」を開催した。

首里地域の団体や企業と連携し、イベントを通して地域との繋がりを深めた。また、こども御開門式や首里在住の小中高生を中心に首里を盛り上げるステージイベント「小中高生バンドフェスティバル」など、地域住民が積極的にイベント運営に参加していただいたおかげで円滑に実施できた。

タイトル	場 所	実施日	参加者数
こども御開門式	奉神門前	3/16～3/17	239人
サンゴ染め体験	芝生広場ガジュマル前	3/16～3/17	203人
首里城正殿ぬり絵体験	西のアザナ入口付近芝生広場	3/16～3/17	214人
小中高生バンドフェスティバル	首里杜館前芝生広場ステージ	3/16～3/17	1,297人
ミツバチ教室	首里杜館1階展望ホール	3/16～3/17	107人
楽しく学ぶ防災体験	首里杜館芝生広場	3/16	52人
首里こども旗頭	守礼門前、瑞泉門下、下之御庭	3/16	—
漆（沈金）体験教室	系図座・用物座	3/17	17人
首里の朝市	首里杜館芝生広場	3/17	—

※首里こども旗頭、首里の朝市の参加者数はカウントなし



こども御開門式



サンゴ染め体験



首里城正殿ぬり絵体験



小中高生バンドフェスティバル



ミツバチ教室



楽しく学ぶ防災体



首里こども旗頭



漆（沈金）体験教室



首里の朝市

(4) 展示紹介・その他企画展等

屋外展示・復興展示室・その他企画展等

1. 屋外展示

令和8（2026）年の首里城正殿完成に向けて着々と建設が進められているが、その過程を「見せる復興」として来園者が間近で見学できるように見学エリアが設けられている。令和5年の8月には素屋根が完成し、その中で実際に正殿が造られている様子を見学することができる。

1) 木材倉庫・加工場・原寸場

奉神門をくぐると、正殿を中心に描かれた北殿や南殿を含む御庭全体のグラフィックが現れる。このグラフィックは「見せる復興」の一環として木材倉庫壁面に描かれている。

木材倉庫は3階建ての建物で、1階は首里城正殿の御用材の搬入と加工を行い、2階は加工された木材を保存管理する場所である。さらに中2階には、正殿正面の唐破風や瓦を敷いた模型等が展示され、見学デッキの北側に面した窓から中の様子を見学できる。



木材倉庫見学デッキ

2) 素屋根

木材倉庫・加工場・原寸場と一部繋げて、素屋根が建てられている。1階から3階まであり、各階毎にガラス張りの窓越しに作業の様子がみられるようになっている。首里城正殿は3階建てであり、各階毎に進捗状況を見ることができ、屋根部分等完成してからはなかなか見られない高さから見学することができる。

素屋根の東側には、首里城正殿中の「御差床」の1階、2階とそれぞれほぼ実際の位置に合わせて描かれている。



素屋根外観



素屋根見学エリア



首里城正殿復元

3) 見学デッキの「正殿の復元過程」グラフィック

見学用デッキの西側フェンスには、石材の搬入、木材の加工、大龍柱の建造、屋根瓦を葺く様子、壁面や柱の彩色・漆塗装など、平成の首里城正殿復元の過程が描かれており、復元工事の基本的なプロセスをイメージすることができる。



平成の正殿復元過程グラフィック

4) 龍頭棟飾鉄骨・飾瓦破片、首里城正殿の石高欄

首里城正殿の大棟（おおむね）の南北両端と中央の唐破風（からはふ）の上にあった大きな龍の飾瓦や首里城正殿の正面と中央の階段には石で造られた高欄の残存物が展示されている。火災の影響で破損したもので、在りし日の首里城正殿を物語る重要な残存物である。



龍頭棟飾鉄骨



龍頭棟飾の残存物

2. 復興展示室

御内原エリアにある復興展示室内には、壁面に沿ってパネルが設置され、首里城復興に向けた取組や、平成と令和の復元の比較として「①扁額」「②瓦」「③防火対策」の違いが分かりやすく解説されている。

また、首里城復元に用いられる木材や瓦、石材、漆塗装の手板などの実物が展示され、コンパクトな解説が日本語と英語で紹介されている。さらに、「首里城復興の参加」として、首里城ボランティアや首里城破損瓦等の活用など現在進行する取組みをパネルで示しており、首里城火災から復興に向けた動きが、動画を交えて紹介している。

復興展示室の中央には、火災前まで首里城正殿の屋根から睨みをきかせていた獅子瓦、正殿の石階段を飾っていた石製の獅子、石高欄等の石彫刻の残存物の一部を展示している。ばらばらになってしまった姿は火災の凄まじさを物語っているが、同時に今までは間近で見ることが叶わなかった石彫刻や瓦の細部を見ることができる。

首里城正殿の梁に使用されたオキナワウラジロガシの輪切りにしたものを沖縄県から譲り受け、展示設置した。



首里城正殿獅子瓦の残存物



オキナワウラジロガシ

3. 企画展ほか（令和5年4月～令和6年3月）

6月より11月まで改修工事のため首里杜館ビジターロビーの使用が中止となり、展示スペースに制約ができたが、次のとおり企画展を開催した。

・郷土歴史文化学習事業成果物展示

会 期：①4月1日～5月11日、②5月12日～8月31日、③3月1日～次年度8月頃)

場 所：①首里杜館1F、②首里杜館 ガイダンスホール、③首里杜館1F

使用区域：県営区域

内 容：郷土歴史文化学習事業で首里城を見学した学校から送られてきた報告書（作文・絵画・新聞等）を学校毎に2週間ずつ展示した。

・鎌倉芳太郎沖縄調査開始 100 周年記念展「鎌倉芳太郎が見た首里城とその周辺」

会 期：8 月 4 日～12 月 28 日

場 所：首里杜館（ガイダンスホール、カフェ）、系図座・用物座、見学デッキ、女官居室

使用区域：国営区域、県営区域、県国営区域

内 容：沖縄県立芸術大学と連携して、鎌倉芳太郎氏が沖縄戦で失われる前の琉球王国時代の貴重な文化財を記録・撮影した古写真をはじめとする調査資料を画像やパネルで紹介した。首里城公園内のいくつかの場所に展示し、周遊して展示を見られるようにした。鎌倉芳太郎は、大正時代に首里城正殿の取り壊し中止のため奔走した沖縄文化研究者。同氏が記録・撮影した資料は、沖縄県立芸術大学が所蔵している。

※関連展示

会 期：10 月 21 日～11 月 3 日

場 所：沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館

・在りし日の首里城

会 期：9 月 1 日（金）～11 月 30 日（木）

場 所：首里杜館 ガイダンスホール

使用区域：県営区域

内 容：平成に復元された在りし日の首里城のすがたを振り返り、パネルで展示紹介する。

※関連展示

会 期：10 月 24 日（火）～11 月 26 日（日）

場 所：沖縄県立博物館・美術館 講堂エントランス

内 容：平成に復元された首里城と、火災から 4 年経過した首里城の復興が進む様子をパネルで紹介。

・辰年記念企画展「首里城と美術工芸品の龍」

会 期：12 月 1 日（金）～3 月 31 日（日）

場 所：首里杜館 ガイダンスホール

使用区域：県営区域

内 容：2024 年の干支である辰年を記念して、首里城や琉球王国時代の美術工芸品のなかに見られる龍を展示紹介する。旧正月の 2 月 10 日を含み、3 月末まで展示した。HPでも展示内容を紹介している。

・花の工芸品解説ポスター展

会 期：2月17日（土）～3月17日（日）

場 所：首里杜館 ガイダンスホール、女官居室

使用区域：県営区域、県国営区域

内 容：首里城公園内を花で装飾した「守礼の花道～首里城 春の訪れ～」が開催され、それに合わせて花や植物をモチーフにした琉球王国時代の美術工芸品をパネルで紹介。



郷土歴史文化学習事業成果物展



「鎌倉芳太郎が見た首里城とその周辺」展



在りし日の首里城展



首里城と美術工芸品の龍展



花の工芸品解説ポスター展

(5) 首里城公園友の会事業

首里城公園友の会事業報告

首里城公園友の会では、琉球・沖縄の歴史や文化に関する講演会、首里城見学会、史跡巡見などを専門の講師を招聘し開催している。また、将来の首里城の修復に備えイヌマキ育樹祭も行っている。各種の事業を通して、首里城公園を拠点に首里城公園への来園を促進し、地域に根ざした普及啓発活動を行った。

1. 首里城見学会

(1) 「日暮れからの首里城見学会」

開催日：令和5年9月9日（土）

講師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授・当代会長）

平良啓氏（(株)国建 常務執行役員・当会副会長）

参加者：会員19名

場所：首里城公園有料区域

(2) 首里城復興祭特別見学会

開催日：令和5年11月4日（土）・5日（日）

①回目13:00～ ②回目15:00～ 各回1時間程度

講師：上江洲安亨氏（沖縄美ら島財団）11/4（土）

高良倉吉氏（琉球大学名誉教授）

平良啓氏（(株)国建 常務執行役員）11/5（日）

参加者：11/4（土）①回目16名 ②回目14名 計30名

11/5（日）①回目15名 ②回目16名 計31名

総計61名

場所：首里城公園有料区域（木材倉庫・素屋根）

2. 首里城周辺めぐり

(1) GWイベント ※沖縄美ら島財団連携 ※一般対象

①親子で楽しむ首里城周辺ツアー

開催日：令和5年5月4日（木・祝）

講師：新里涼子氏（(株)国建）

参加者：8名（4組）

場所：首里城公園無料区域、雨乞御嶽、崎山公園

②親子で楽しむ首里城周辺ツアー

開催日：令和4年5月5日（金・祝）

講師：山城彰子氏（大学非常勤講師）

参加者：16名（4組）

場所：首里城公園無料区域、龍潭、中城御殿跡



(2) 首里城周辺めぐり「橋を中心に首里あるき」

開催日：令和6年3月20日（水・祝）

講師：喜納大作氏（首里城研究会会員）

参加者：20名

場所：首里城公園内、崎山町、金城町、鳥堀町

3. 那覇めぐり及び地域めぐり

(1) 地域めぐり「浦添城跡周辺歩き～かつての王都“浦添”を学ぶ」

開催日：令和5年11月19日（日）

講師：仁王浩司氏（浦添市教育員会）

参加者：12名

場所：浦添グスク跡周辺及び浦添市前田集落

(2) 地域めぐり「軽便与那原線ウォーキングと瓦工場見学」

開催日：令和6年1月20日（土）

講師：喜納大作氏（与那原町立軽便与那原駅舎）

参加者：13名

場所：与那原町、南風原町

(3) 那覇めぐり「泊村と異国人」

開催日：令和6年2月11日（日・祝）

講師：外間政明氏（那覇市市民文化部文化財課）

参加者：18名

場所：那覇市（泊、安里、牧志）

4. 文化講演会

(1) 総会記念講演会

開催日：令和5年6月24日（土）

テーマ：首里城正殿復元と宮大工・建築士—琉球木造建築をめぐる技術、魅力を語る

講師：山本信幸氏（宮大工、(株)社寺建代表取締役会長）

平良啓氏（建築士、博士、(株)国建 常務執行役員）

参加者：80名

場所：沖縄県立博物館・美術館（博物館講座室）

(2) 首里城文化講演会（出張講演会）

開催日：令和5年12月3日（日）

テーマ：「首里城とヤンバルをめぐる歴史状況—文献資料を中心に—」

講師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授・当会会長）

参加者：60名

場所：名護市博物館

5. コンパクト講座

(1) 「ブクブク茶体験」と「琉球料理」

開催日：令和5年9月23日（土・祝）

講師：沖縄伝統ブクブク茶保存会

参加者：12名

場所：琉球料理「美栄」那覇市久茂地在



(2) 「近世後期の欧米船渡来と首里王府の対応」

開催日：令和5年10月14日（土）

講師：大城直也氏（那覇市歴史博物館）

参加者：21名

場所：沖縄美ら島財団那覇事務所（芙蓉館）

(3) 「御後絵（国王肖像画）について—描かれた背景の秘密を探る—」

開催日：令和5年10月21日（土）

講師：平川信幸氏（沖縄県立博物館・美術館）

参加者：14名

場所：沖縄美ら島財団那覇事務所（芙蓉館）



6. 沖縄本島及び離島史跡巡見及び半日バスツアー

(1) 史跡巡見北部コース「伊江島タッチー登城と島めぐり」

開催日：令和5年11月26日（日）

講師：玉榮飛道氏（伊江村教育委員会）

参加者：22名（ほか、講師、講師補助、事務局2名）

場所：伊江村

(2) 史跡巡見中部コース

「沖縄本島中部の貝塚時代から戦後までの長〜い歴史探検！！」

開催日：令和5年12月17日（日）

講師：恩河尚氏（沖縄市総務部）

参加者：21名

場所：沖縄市、北谷町、嘉手納町、読谷村



(3) 離島ツアー「北大東島巡見」

開催日：令和6年1月13日（土）～14日（日）

講師：平良啓氏（(株)国建 常務執行取締役・当会副会長）

参加者：12名

場所：北大東島

(4) とことん深堀！勝連城跡&あまわりパークの魅力発見（半日バスツアー）

開催日：令和6年3月23日（土）

講師：伊波和輝氏（うるま市企画部）

参加者：24名

場 所：うるま市（勝連城跡、あまわりパーク）

7. イヌマキ育樹祭（場所：国頭村辺野喜ダム附近）

（1）令和5年7月22日（土） 約70名

（2）令和6年2月3日（土） 約90名



8. 体験教室（沖縄美ら島財団連携）

（1）首里城公園 夏休み体験イベント「琉球すごろく体験」（沖縄美ら島財団連携）

日 時：令和5年8月12（土）・13（日）

場 所：首里杜館ガイダンスホール

講 師：鶴田大氏（琉球文化財研究室・8/12）

前田勇樹氏（琉球大学附属図書館・8/13）

参加者：216名（12日/110名 13日/106名）

（2）首里城公園イベント春の御城まつり「漆（沈金技法）体験」

日 時：令和6年3月17日（日）

場 所：首里城公園 系図座・用物座

講 師：前田春城氏（琉球漆紀行）

参加者：17名



9. 首里城研究会

（1）第168回 令和5年5月20日（土） 参加者：16名

テーマ：首里城研究25号合評会

（2）第169回 令和5年7月8日（土） 参加者：16名

発表①：石川恵吉氏

テーマ：16世紀の御拝ツツをめぐる問題-東アジアの歴史的動向を視野にいれて-

発表②：上江洲安亨氏

テーマ：『琉球国の祭祀儀礼道具の研究』の概要報告

（3）第170回 令和5年9月30日（土） 参加者9名

発表①：土井菜々子氏

テーマ：「火災被害漆器の修理について」

発表②：濱地龍磨氏

テーマ：「王府役人の辞職について」

（4）第171回 令和5年12月2日（土） 参加者15名

発表①：外間政明氏

テーマ：「崇元寺に掲げられた扁額について」

発表②：平川信幸氏

テーマ：「崇元寺の壁画研究の現状と課題」

- (5) 第172回 令和6年2月17日(土) 参加者14名
 発表①：金城善氏
 テーマ：『多良間島塩川村丑惣頭物成帳』と同二十二年の『多良間島仲筋村丑惣頭物成帳』に見る多良間の人々」
 発表②：森達也氏
 テーマ：「琉球王国時代の明朝瓦の技術系譜について」
- (6) 第173回 令和6年3月30日(土) 参加者：17名
 発表①：倉成多郎氏（那覇市壺屋焼物博物館）
 テーマ：「近代尚家文書にみる丁子風炉の使用例～近世首里城内の儀礼への接続可能性について～」
 発表②：宮城弘樹氏（沖縄国際大学）
 テーマ：「琉球の指輪と鳩目銭」

10. 「首里城研究」(学術誌)の発行

「首里城研究」 No. 26 令和6年3月31日発行

《内容》

- 論文 濱地龍磨氏「第二尚氏王統期における王府役人の辞職について」
- 研究ノート 真栄平房昭氏「平定金川図」—乾隆帝の戦勝記念「銅版画」の琉球伝来—
- 研究ノート 伊従勉氏「御書楼としての首里城正殿：清代正殿の変貌」
- 研究ノート 牛窪彩絢氏「琉球王朝における「殯」の成立起源」
- 資料紹介 金城善氏「明治19年の島津忠義公らの琉球巡覧と尚泰の書翰」

11. 友の会会報の発行

- (1) 第124号 令和5年7月31日発行
- (2) 第125号 令和5年10月31日発行
- (3) 第126号 令和6年1月1日発行
- (4) 第127号 令和6年3月31日発行

12. 運営委員会

- | | | |
|-----|----------------------|--------|
| 第1回 | 開催日：令和5年4月21日(金) | 参加者：6名 |
| | テーマ：友の会事業及び決算について | |
| 第2回 | 開催日：令和5年5月20日(土) | 参加者：7名 |
| | テーマ：友の会R5年度総会に向けて | |
| 第3回 | 開催日：令和5年7月8日(土) | 参加者：8名 |
| | テーマ：会報124号の発行に向けて、ほか | |
| 第4回 | 開催日：令和5年7月29日(土) | 参加者：9名 |
| | テーマ：友の会今後の事業について、ほか | |

- | | | |
|-----|----------------------|--------|
| 第5回 | 開催日：令和5年9月30日（土） | 参加者：7名 |
| | テーマ：会報125号の発行に向けて、ほか | |
| 第6回 | 開催日：令和5年12月2日（土） | 参加者：8名 |
| | テーマ：会報126号の発行に向けて、ほか | |
| 第7回 | 開催日：令和6年3月10日（日） | 参加者：8名 |
| | テーマ：会報127号の発行に向けて、ほか | |

13. 会員数（令和6年3月31日現在）

個人会員：761人

法人会員：37社

(6) 誘客促進

首里城復興イベント(沖縄県連携事業)

目的

首里城への来訪を推進し、その着実な復興の状況を共有するため、首里城の復元及び象徴される琉球の歴史・文化を「観て」「学んで」「楽しむ」機会を創出し、その魅力を再確認するイベントの実施を目的とする。沖縄県と連携し「首里城復興イベント」として園内でのナイトタイムコンテンツやワークショップを実施する。

概要

ナイトタイムコンテンツ

12月9～10日 426人 2月17～18日 594名 合計：1020名

【演者による解説】

琉球王国時代からタイムスリップしてきた役人に扮した演者が、奉神門から参加者を引き連れて復興エリアを案内した。見学デッキで琉球独自の建築様式の話しや、素屋根見学エリアで実際の復元の様子を解説し、復興展示室では平成の復元と令和の復元の違いを解説したり、クイズをしたりして参加者を盛り上げた。

【芸能とプロジェクションマッピング鑑賞】

世誇殿で玉城朝薫に扮した役者が、芸能を解説し実際に琉球芸能を鑑賞した。その後白銀門に移動し、首里城復興を応援するプロジェクションマッピングを鑑賞した。

ものづくり体験イベント

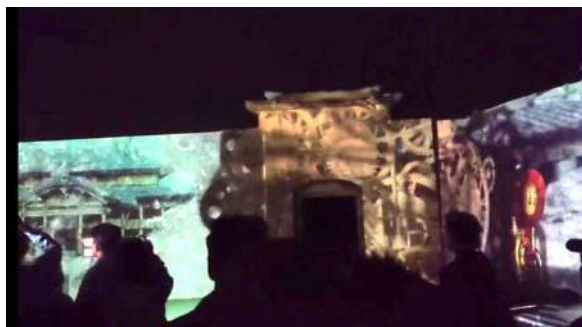
12月9～10日：灯籠づくり体験 164名

2月17～18日：時計づくり体験 208名

12月は復興展示室にて、灯籠づくり体験を開催。貼り絵やイラストでオリジナルな提灯を作った。2月は時計作りを開催し、首里城をかたどった木枠に色を塗りオリジナル時計を作った。



役人による復興エリア解説



白銀門でのプロジェクションマッピング

第2回泡盛古酒ボトルオークション及び関連イベント

目的

泡盛文化の普及啓発を目的に沖縄県酒造組合の協力の下、琉球王府が泡盛を貯蔵していた銭蔵を会場に、琉球泡盛の普及啓発イベントを開催し、琉球王国発祥の泡盛文化の魅力を発信する。また泡盛文化を語り合う時間・空間を創出し、県民や観光客に琉球泡盛の魅力を知らせてもらう機会として、泡盛オークションを首里杜館を会場に実施する。

開催期間および場所

《期間》 令和5年12月15日（金）～17日（日）3日間

《場所》 銭蔵、世誇殿、首里杜館1F 情報展示室、無料休憩所

《協力団体》 沖縄県酒造組合、山原島酒之会、泡盛マイスター協会、他

概要

泡盛古酒ボトルオークションでは、昨年の74本を上回る92本の応募ボトルが集まった。泡盛関係者も初めて目にするという70年前の泡盛ボトル「寿(コトブキ)」を含む、40年以上経過した貴重なボトルが多数あり、査定額も昨年より高い値がついたボトルが多かった。オークション本番では、出品された60本のボトルのうち、83%にあたる50本が落札された。今回は、前回の反省を踏まえ、オークション前のボトル公開展示で、ボトルの落下防止策を講じた。また、複数本を落札する参加者向けにボトル預かりスペースを新設し、イベントはスムーズに進行した。

飲み比べ体験会では、オークション参加者以外にも一般来園者や県外からの旅行者が参加し、3種類の熟成した古酒の美味しさを堪能した。他にも、琉球泡盛パネル展や泡盛の女王ミニトーク、色鮮やかな泡盛モデル三線の展示が来園者から好評を得た。



オークション会場の様子①



オークション会場の様子②



オークション会場の様子③



ボトルオークション公開展示



泡盛古酒飲み比べ体験会



琉球泡盛パネル展



泡盛モデル三線の展示



泡盛の女王 ミニトーク

首里城 MICE

目的

首里城公園の利活用として MICE を受入実施し、魅力創造、琉球・沖縄の歴史・文化・芸術等を情報発信し誘客促進するとともに、沖縄県の観光振興に寄与する。今後は、首里城公園独自の MICE プランを構築・展開していく。

実施日時・団体

- ① 令和5年12月13日（水） 主要会場：世誇殿
「首里城歓迎の宴」 那覇 MICE 受入推進パートナーズ（OMM 株式会社・株式会社日本旅行沖縄）
- ② 令和6年1月26～28日（金～日） 主要会場：歓会門、瑞泉門下、広福門前、有料区域
「御城の夕べ～彩りの首里城と琉球芸能」 株式会社近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム株式会社
- ③ 令和6年2月10～12日（土～月・振替） 主要会場：瑞泉門下
「DININGOUT RYUKYU-SHURI」（主催：沖縄県 企画：(株)ONESTORY）

総括

令和5年度は、3件の MICE イベントを受け入れた。那覇 MICE 受入推進パートナーズの MICE は、モニターツアーであったものの世誇殿で初めてとなる MICE 開催となった。世誇殿のモニターやステージを活用して、琉球歴史研究家による琉球の歴史や食に関する講演と琉球古典芸能、近隣ホテルによる琉球料理で参加者をもてなした。世誇殿 MICE は、首里城公園内で数少ない屋内であり、かつ^{おうちばら}御内原という特別感もあることから、今後も積極的に誘致したい。

「御城の夕べ」は昨年に引き続き2年連続の開催となり、首里城 MICE（ナイトコンテンツ）の需要の高さが伺えた。昨年はナイトコンテンツと日中の首里城見学が別であったが、今年度は園内見学をナイトコンテンツ内に入れ込んだことで、ナイトコンテンツの華々しさと復興の様子を一度で体感できるプログラムとなった。

「DININGOUT RYUKYU-SHURI」は、首里城公園で初めてとなる「高付加価値」なコンテンツとして沖縄県が主催し、東京のミシュラン三ツ星レストランが瑞泉門下で料理をふるい、音響なしの古典音楽で参加者を魅了した。

件数は3件にとどまったものの、昨年に続き開催されたイベントや、公園で初めてとなるイベントが開催されたことで、夜の首里城の魅力の高さが伺え、幅が広がった。



世誇殿 MICE



DININGOUT RYUKYU-SHURI

お城 EXPO 2023

目的

国内最大級の城の祭典「お城 EXPO2023」で、県内の城跡とともに首里城公園ブースを出展し、沖縄観光 PR・県内城郭の周遊促進を図るとともに首里城復興への気運を高める。

開催期間および場所

《期間》 令和5年12月16日（土）～17日（日）

《場所》 横浜パシフィコノース

《連携団体》（一社）中城村観光協会、（一社）読谷村観光協会、
（一社）うるま市観光物産協会、（一社）浦添市観光協会

実施概要

横浜みなとみらいにて開催された国内最大級のお城の祭典「お城 EXPO2023」の観光情報ゾーンへブース出展し、首里城の復興状況や歴史文化を伝えるパネル展示、世界遺産首里城正殿基壇遺構の実寸大パネル展示、復興 VR 体験の実施、コラボ御城印、菊型ちんすこう等の販売を行った。首里城公園ブースは朝から夕方まで絶え間なく訪れるお客様で常に活気に満ちており、今回の出展は大変有意義なものとなった。多くの訪問者が過去に首里城を訪れた経験を持っており、お城ファンの熱量と首里城の全国的な人気を肌で感じることができた。VR 体験も盛況で、特に家族連れに人気があった。出展ブース全体を見渡しても、子どもが楽しめるコンテンツは少なかったが、首里城ブースでは子どもが目を輝かせて体験する様子を親が楽しむシーンが多く見られた。



首里城ブースの様子



VR 体験の様子

YouTube 動画コンテンツの公開

目的

本格的な再建が進んでいく中で、国と連携して首里城の魅力や復興現場の様子を分かりやすく伝える YouTube 動画コンテンツを制作し、首里城復興への気運を高める。

実施概要

YouTube 動画コンテンツを通じて、首里城公園の見どころや復興の様子を発信した。R5 年度は合計 22 本公開。

〈首里城 YouTube チャンネル URL〉

<https://www.youtube.com/channel/UCGEHLlyK1ttS9acFsC9sINQ>

R5 年度 YouTube 動画コンテンツ 公開一覧

(回)

公開日時	タイトル	内容	再生回数
4 月 20 日	首里城重ね捺しスタンプラリーPart1	重ね捺しスタンプラリーの スポット紹介	360
5 月 11 日	首里城重ね捺しスタンプラリーPart2	重ね捺しスタンプラリーの スポット紹介	214
5 月 12 日	沖縄の学生×首里城 写真プロジェクト	写真プロジェクトを国の担 当者にインタビュー	223
5 月 12 日	首里城重ね捺しスタンプラリーPart3	重ね捺しスタンプラリーの スポット紹介	318
5 月 29 日	首里城重ね捺しスタンプラリーPart4	重ね捺しスタンプラリーの スポット紹介	404
6 月 9 日	首里城重ね捺しスタンプラリーPart5	重ね捺しスタンプラリーの スポット紹介	381
6 月 11 日	首里城重ね捺しスタンプラリーPart6	重ね捺しスタンプラリーの スポット紹介	332
6 月 12 日	近藤棟梁インタビュー	原寸図制作作業を紹介	1,314
7 月 22 日	首里城復元現場のいま 【撮影日：令和5年7月19日】	復元工事現場の様子を紹介	7,306
7 月 26 日	首里城復興 担当者に聞いてみた! 「第一話 復元とは？」	国の担当者にインタビュー	1,031
8 月 4 日	首里城復興 担当者に聞いてみた! 「第二話 ここが変わる！令和の正殿」	国の担当者にインタビュー	2,597

公開日時	タイトル	内容	再生回数
8月19日	【首里城】正殿復元ボランティアに参加してみませんか？	ニービの粉製作ボランティアの紹介	342
9月6日	首里城正殿復元現場のいま 【撮影日：令和5年8月8日】	復元工事現場の様子を紹介	4,624
9月29日	首里城正殿 復元現場のいま 素屋根 【撮影日：令和5年8月8日】	素屋根の復元工事現場の様子を紹介	1,519
11月17日	首里城正殿復元現場のいま ウラジロガシ据え付け 【撮影日：令和5年10月27日】	ウラジロガシ据え付けの様子を紹介	1,415
12月2日	首里城正殿復元現場のいま 【令和5年10月4日撮影】	復元工事現場の様子を紹介	4,755
12月8日	復興インタビュー 今しか見られない！首里城の新スポットに潜入！	素屋根グラフィックアートを紹介	1,592
12月25日	「首里城復元現場のいま令和5年11月8日」 ウォークスルー	復元工事現場の様子を紹介	270
12月25日	首里城 復興へのあゆみ ドローン空撮 Vol 4	上空からの復元工事現場の様子を紹介	499
12月25日	首里城 復興へのあゆみ Vol 4	復元工事進捗について1年間のダイジェスト動画	951
1月31日	首里城正殿復元現場のいま 【令和5年12月20日撮影 イヌマキの建て方工事】	イヌマキの建て方工事の様子を紹介	975
2月19日	首里城正殿復元現場のいま 【令和5年12月25日撮影 建て方工事完了】	棟木の取り付けの様子を紹介	1,722



YouTube 動画サムネイル画面

首里城通信 御城だより (うぐしくだより)

目的

首里城公園の広報誌として、首里城正殿復元整備工事の進捗や首里城基金を活用した美術工芸品の修復状況を伝えるとともに、沖縄の歴史文化の普及・啓発、及び、首里城の魅力を広く広報することで沖縄観光へ寄与し、誘客へ繋げることを目的とする。

実施概要

「令和の首里城復元」をテーマに国の担当者や有識者に復元インタビューを行い、首里城正殿復元の取り組み等を紹介したほか、首里城基金を活用した美術工芸品の修復状況や首里城公園の見どころなどを紹介した。園内配布の他、県内の観光案内所や空港、文化施設・自治体などに配布した。冊子の発刊と併せてWEB版を首里城公園ホームページに掲載し、バックナンバーも閲覧できるよう汎用性を高めている。

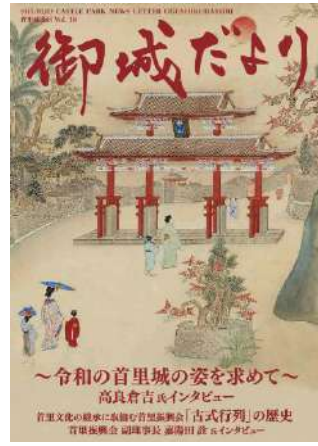
R5 年度発刊実績

御城だより Vol. 17 5月 3,000部

御城だより Vol. 18 11月 3,000部



御城だより Vol. 17 表紙



御城だより Vol. 18 表紙



復元工事総棟梁へのインタビュー記事



有識者へのインタビュー記事

首里城公園フォトコンテスト「あなたの御城（うぐしく）メモリーズ 2024」

目的

首里城を訪れたお客様に、旅あと（ここでは広く旅のあとの期間）も楽しんでいただくため、首里城に関する写真を投稿してもらい、首里城での思い出を形にすることで強い印象を残し満足度向上を図り、投稿者以外のお客様とも共有することで公園利用促進につなげる。

実施概要

《募集期間》 令和6年3月13日（水）～3月27日（水）

《テーマと応募方法》

「あなたの^{うぐしく}御城メモリーズ」をテーマに、首里城で撮った写真、または首里城で購入したお土産を部屋に飾っている写真などを、専用フォーム（首里城公園のホームページ）またはハッシュタグ「#うぐしくメモリーズ2024」をつけて上記期間内に投稿してもらった。

《応募数》

39名、171点（専用フォーム：21名82点、インスタグラム：18名89点）

《審査と発表》

3月28日（木）に第一次審査として、広報企画展示係員6名（男性3名、女性3名）で最終審査対象作品を20点に絞り、3月29日（金）に、現場スタッフも含む審査員12名

（男性6名、女性6名）による審査（各員上位3点に投票）の上、^{うえーかた}親方賞2名、

^{べーちん}親雲上賞3名、^{さとめし}里之子賞5名の受賞者を決定した。

3月30日（土）に首里城公園HPおよびSNS（Instagram、Facebook）で発表。

受賞作品（上位5点）



(7) 行催事

首里城公園 ゴールデンウィーク体験イベント

目的

ゴールデンウィーク期間中に、子供たち向けに、体験要素と学習要素の高いプログラムを提供し、親子で楽しみながら、琉球王国が育んだ歴史文化の魅力について学んでいただくことを目的とする。

開催期間および場所

《期間》 令和5年5月3日（水）～ 5月7日（日）

《場所》 首里城公園内全域

概要

体験要素の高い「漆喰絵付け体験」「首里城正殿ぬり絵体験」「紅型コースター染付体験」など親子で楽しみながら学べるプログラムを実施した。

また、新規プログラムとして「琉球張り子絵付け体験」や「琉球音楽演奏会」を実施し、親子で楽しみながら、沖縄の文化に触れるイベントを実施し好評を得た。

プログラム

(人)

区域	プログラム	場所	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	合計
無料 区域	琉球張り子絵付け体験	瑞泉門下	27	57				84
	漆喰絵付け体験	瑞泉門下			93	48	27	168
	首里城正殿ぬり絵体験	系図座・用物座	94	176	160	128	78	636
	ペーパークラフト作り体験	系図座・用物座	167	228	283	237	148	1,063
有料 区域	こども御開門式	奉神門基壇		39				39
	琉球音楽演奏会	世誇殿	581	667	785	664	258	2955
	紅型コースター染付体験	女官居室テラス	39	42	47	11	20	159
全域	謎解きゲーム	園内全域（受付 首里杜館）	152	135	181	122	134	724
公園 内外	親子で楽しむ首里城周辺 ツアー	首里城公園周辺		8	16			24



漆喰絵付け体験



琉球音楽演奏会



首里城正殿ぬり絵体験



ペーパークラフト体験



紅型コースター染付け体験



謎解きゲーム



琉球張り子絵付け体験



親子で楽しむ首里城周辺ツアー

首里城公園 夏休み体験イベント

目的

「親子で楽しめる」イベントとして体験要素と学習要素の高いプログラムを提供し、琉球王国が育んだ歴史文化の魅力を多くの子供たちに伝えることを目的とする。

開催期間および場所

《期間》 令和5年8月11日（金）～ 8月13日（日）

《場所》 首里城公園内全域

概要

体験要素の高い「琉球菓子くんぺん作り体験」「オリジナルちょうちん作り体験」「琉球すごろく体験」に加え、新規プログラムとして「御開門式体験会」や「組踊をかるたで学んで遊ぼう」、「歴史探索！首里城自由研究帳」など、親子で楽しみながら沖縄の文化に触れるイベントを実施した。

御開門式体験会は今回から一般公募を行い、県内外の方が参加し琉球王国が育んだ歴史文化の魅力を伝えることができた。

プログラム

(人)

プログラム	場所	8/11	8/12	8/13	合計
琉球菓子くんぺん作り体験	系図座・用物座	58	/	/	58
首里城オリジナルちょうちん作り体験	系図座・用物座	/	52	44	96
琉球音楽演奏会	世誇殿	492	430	632	1,554
御開門式体験会	奉神門基壇	1組 2人	2組 2人	2組 3人	5組 7人
沖縄の歌舞劇「組踊」をかるたで学んで遊ぼう	首里杜館	/	18	/	18
琉球すごろく体験	首里杜館	/	110	102	212
サンセットガイドツアー	系図座～奉神門～ 世誇殿～東のアザナ	7	15	17	39



琉球菓子くんぺん作り体験



オリジナルちょうちん作り体験



琉球音楽演奏会



御開門式体験会



「組踊」をかるたで学んで遊ぼう



琉球すごろく体験



サンセットガイドツアー



歴史探索！首里城自由研究帳

首里城復興祭

目的

琉球文化の普及啓発、沖縄の観光振興に加えて、首里城復興の気運を高めるため国や県、地域との連携により各種催事を展開することで、沖縄の歴史文化の発展、県民の方々へ首里城復興に想いを馳せる機会の創出、地域の発展に寄与することを目的とする。

開催期間および場所

《期間》 令和5年11月3日（金・祝）～11月5日（日）

《場所》 首里城公園及び首里城公園周辺並びに那覇市国際通り

《連携団体》 那覇市、首里振興会、沖縄県、琉球新報社、地域団体等

概要

4年ぶりとなる琉球王朝絵巻行列および国王・王妃の選出・お披露目を、「首里城復興」のキーワードとともに情報発信したことから、県内外から期待感と注目度が高まった。11/3は1万人を超えるなど期間中は多くの方が来園した。イベント全体を通じて、首里城復興を応援する気持ちから多くの関係者にご協力いただき、またマスコミ報道を獲得したことで、首里城復興の機運醸成および来園促進を図ることができた。

首里城復興祭のメインイベントなる「琉球王朝絵巻行列」では、総勢約400人が一大絵巻を再現し、国際通りを華やかに練り歩いた。新たな取り組みとして平田大一氏プロデュースによる子ども達の演舞を行列に加え、過去、現在、未来へと受け継がれる琉球の文化芸能を披露した。

琉球芸能公演は甦る首里城を守る会による古式豊かな伝統の琉球舞踊に加え、バレエ実演家による「おもろさうし」と古事記を基調とした新作バレエを披露し多くの方々に新たな県民文化として発信することができた。



国王・王妃出御



首里城復興特別見学ツアー



琉球王朝祭り首里「古式行列」



首里城復興祈念ステージ



琉球王朝絵巻行列



琉球芸能公演



こども御開門式



ぬりえ・ペーパークラフト

首里城復興祭イベント

(人)

イベント名	場所	11/3	11/4	11/5	合計 観覧者数
国王・王妃出御	奉神門前	—	1,035	—	1,035
首里城復興特別見学 ツアー	木材倉庫 素屋根内部	—	30	30	60
琉球王朝祭り首里 「古式行列」	奉神門～守礼門	2,536	—	—	2,536
首里城復興祈念 ステージ	首里杜館 1F 無料休憩所	799	708	1,011	2,518
琉球王朝絵巻行列	那覇市国際通り	—	—	30,000	30,000
琉球芸能公演	下之御庭	1,922	2,552	—	4,474
こども御開門式	奉神門前	315	—	—	315
正殿ぬりえ・クラフ ト体験	系図座・用物座 周辺	650	423	262	1,335

首里城公園 新春の宴

目的

正月儀式「朝^{ちようはい}拝御規式」の一部紹介や、国王・王妃出御を披露するとともに、琉球舞踊や古典音楽により首里城らしいお正月の雰囲気演出することで、沖縄観光及び首里地域の活性化に寄与することを目的とする。

実施期間および場所

《期間》 令和6年1月1日（月）～1月3日（水）

《場所》 首里城公園全域

《連携団体》 沖縄県立芸術大学、首里振興会、
（一社）琉球伝統芸能デザイン研究室

概要

元日には首里城友の会限定の実証実験として「首里城で迎えよう！初日の出見学会」を実施した。琉球舞踊の披露や、呈茶サービスを行った後、東のアザナにて初日の出を鑑賞した。また、正月儀式「朝拝御規式」の一部再現、「国王・王妃出御」や「御座楽演奏」、「琉球芸能の宴」を披露し、新春の首里城にふさわしい厳かな雰囲気を演出した。また新規プログラムとして「お正月書初め体験」や「正殿復元工事の端材でストラップを作ろう」などの体験プログラムを実施し全て完売となるほど多くの来園者に好評であった。

プログラム

（人）

イベント名	場所	1/1	1/2	1/3	合計
首里城で迎えよう！ 初日の出見学会	守礼門～下之御～ 世誇殿～東のアザナ	18	—	—	18
朝拝御規式	奉神門～下之御庭	1,445	1,446	—	2,891
国王・王妃出御	奉神門～下之御庭	—	—	1,327	1,327
御座楽演奏	系図座・用物座	751	550	845	2,146
琉球芸能の宴	系図座・用物座	1,313	1,110	682	3,105
御開門式体験会	奉神門	—	103	105	208
漆喰絵付け体験	瑞泉門階段下	87	70	47	204

イベント名	場所	1/1	1/2	1/3	合計
お正月書初め体験	瑞泉門階段下	171	164	162	497
首里城メッセージカード	復興展示室	—	—	—	—
正殿復元工事の端材でストラップを作ろう	女官居室テラス	155	154	167	476
新春特別ぐるっとツアー	首里公園内	34	33	19	86
朝拝御規式映像上映	世誇殿	—	—	—	—

※首里城メッセージカード、朝拝御規式映像上映の参加者数はカウントなし



初日の出見学会



朝拝御規式



国王・王妃出御



御座楽演奏



琉球芸能の宴



御開門式体験会



お正月書初め体験



首里城メッセージカード



端材ストラップ作り

首里城公園 花装飾

目的

沖縄を訪れたお客様に色鮮やかな花々でおもてなしする「沖縄花のカーニバル 2024」の開催に併せて、海洋博公園の「美ら海花まつり」に続き、首里城公園においても園内の花装飾を実施し、花をテーマにしたプログラムを連携イベントとして実施することで、公園利用促進及び来園者の満足度向上を図ることを目的とする。

開催期間および場所

《期間》 令和6年2月17日（土）～3月17日（日）

《場所》 守礼門～歓会門、系図座・用物座、世誇殿、首里杜館ガイダンスホール

概要

「沖縄花のカーニバル 2024」に併せて花をテーマにした催しで首里城公園の入園促進及び来園者の満足度向上を図った。園内装飾については守礼門付近～歓会門前までブーゲンビレアなどの花を用いて華やかな装飾を施した。

琉球のお菓子作り体験ではちんすこう作り体験を通して、琉球菓子の歴史やその背景について解説を行い34名が参加した。また「歴史植物ガイドツアー」では、園内に咲く草花や歴史を紹介することで園内周遊や再来園の契機づくりを図った。



守礼の花道～首里城春の訪れ～



琉球菓子作り体験



植物歴史ガイドツアー



首里城の植物たち（映像上映）

首里城公園事業年報 第5号 令和6年5月 作成

発行所 一般財団法人 沖縄美ら島財団

沖縄県那覇市首里金城町1丁目2番地

電話 098-886-2020 (代)

編集兼発行人 花城 良廣



※首里城正殿屋根復元工事の様子